

とういん じゅしん かんじゃ ごかぞく だいにりにん かた
当院を受診された患者さんとそのご家族および代理人の方へ

当院では下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、連絡期間内に、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

受付番号	20210141
研究課題名	コロナ禍で経験したクリティカルケア看護が必要な患者・家族看護（症例報告）
当院研究責任者	さいせいかいよこはましとうぶびょういん かんごぶ EICU/ ひらおゆみこ 済生会横浜市東部病院 看護部 EICU/ 平尾由美子
連絡期間	じょうほうとう けんきゅうもくてき りょう きぼう ばあい せいれき2022ねん3がつ31にち 情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、西暦2022年3月31日までに した といあわせさき ごれんらく 下の問い合わせ先にご連絡ください。
研究の目的と意義	<p>コロナウイルス感染症が流行し、2020年3月に厚生労働省から提示されたコロナ対応指針に基づき面会禁止の措置を取る医療施設が多くあります。当院でも、オンライン面会などで直接面会の代用をするなどの工夫もおこなってきました。</p> <p>しかし、特に重症患者は、家族の意思決定支援・危機的状況の受容サポート・看取りのためには、オンライン面会だけでは、支援しきれないと判断する症例がありました。そのため、感染対策を行いながら直接面会とオンライン面会を併用してきました。その結果、現在までクラスターをおこすことはありませんでした。コロナ禍での患者・家族の精神的サポートの一つとしての面会の現状をまとめ報告することは、看護の質の向上の要因になると考え看護研究をおこなっています。</p>
研究の方法	<p>直接面会時、看護師がおこなった感染対策と精神的サポートの実施状況の患者さんと家族の反応について情報を収集し、症例として報告する。</p>
対象者	<p>西暦2020年3月1日～2021年9月30日の間に、 当院のEICU・EHCUに入室され、入院時以外に直接面会を実施した患者さん・家族</p>
利用する試料/情報	<p>情報等：診断名、治療歴、年齢、性別、家族構成、直接面会時を選択した理由、直接面会の実施時患者・家族の反応、面会時に実施した感染対策、オンライン面会の併用の有無</p>
研究組織	<p>当院単独研究</p>
試料/情報の院外提供	<p>該当なし</p>
研究資金源	<p>研究者の私費</p>
結果公表	<p>クリティカルケア看護学会で発表し、雑誌へ投稿予定</p>
研究終了後の試料/情報の取り扱い	<p>研究終了報告日から5年または最終の研究結果報告日から3年のいずれか遅い日まで保管し、匿名加工情報として廃棄します。</p>
問い合わせ先	<p>ゆうびんばんごう230-8765よこはましつるみくしもすえよし3-6-1 230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000 さいせいかいよこはましとうぶびょういん かんごぶ EICU / ひらおゆみこ 済生会横浜市東部病院 看護部 EICU / 平尾由美子</p>